

# 事務事業評価シート

(H.29)No.	1476	(H.28)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	広域観光連携推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	松本 孝寿	

会計区分	事業コード	364401
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	広域観光連携推進事業	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	広域観光連携推進事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	3	観光交流
重点プロジェクト	1.元気創造プロジェクト		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	外国人をターゲットに、旅行会社や交通事業者との連携により誘客に取り組み、持続可能な観光事業の推進と地域経済の活性化を図ります。
事業内容	室生赤目青山国定公園エリアを中心とする市村で広域連携DMOを設立し、管内に存する自然、歴史、文化などの観光資源を周遊化するとともに、地域資源を生かした体験型・交流型ツアーを企画し、ニーズに合わせた魅力ある商品化に取り組みます。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	日本文化に理解のある外国人及び旅行業等の経験者を市臨時職員として任用し、関係市村の観光資源の調査及びモニターツアーを実施しました。 【内訳】共済費 278,973円 賃金1,976,485円 需用費 177,669円		平成29年度に広域連携DMOを立ち上げ、事業所への外国人対応指導、体験型旅行企画の国内外旅行社への営業、イベント、商談会への出展などを行う他、受入環境の整備(ソフト事業)を実施します。	
	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)		
	広域連携DMOによる外国人誘客を進めるとともに、受入環境の整備(ソフト事業)を実施します。	広域連携DMOによる外国人誘客を進めるとともに、受入環境の整備(ソフト事業)を実施します。	完了(自主運営)		

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		2,433千円		13,005千円	13,005千円	13,005千円	0千円
内訳(千円)	国・県支出金	1,216		6,502			
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	1,217	0	6,503	13,005	13,005
人工数	職員		0.10人	0.50人	0.50人	0.50人	0.20人
	臨時職員等		0.10人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	920千円	0千円	3,750千円	3,750千円	3,750千円	1,500千円
①+②総事業費	0千円	3,353千円	0千円	16,755千円	16,755千円	16,755千円	1,500千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
平成28年度においては、広域DMO組織立ち上げの準備を進めるとともに、関係市村の観光資源調査、外国人によるモニターツアー等を実施し、平成29年3月29日に「東奈良名張ツーリズム・マーケティング」の設立総会を開催し、4月1日より事業を開始した。平成29年度においては、旅行商品企画を造成し、国内外の旅行社に営業を行うとともに、ビジネス英会話研修や外国人対応研修を実施し、受入環境の整備を行う。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
2020年の東京オリンピックに向け、外国人誘客のための旅行商品企画の造成と受入環境の整備を進めて行く。	名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略